

## 研究組織の刷新について

- 個々の創薬チームが自律的に「価値」を創出する組織へ -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、以下の通り、2021年10月1日付で研究組織の変更を行います。

本組織変更では、アステラス製薬の研究段階における部門間の相乗効果を最大化し、より機動性の高い研究組織を確立します。これにより、競合優位なポートフォリオを構築し、患者さんに革新的な治療法を提供し続けることを目指します。

当社は、「経営計画 2021」の戦略目標の一つである「科学の進歩を確かな「価値」へ」において、研究開発戦略上の Focus Area アプローチ から生み出された複数のプログラムに優先的に経営資源を投下し、パイプライン価値を高めることを掲げています。その実行に向けて、新体制では、研究段階の活動をより強化するために Chief Scientific Officer (CScO) の管轄の下、従来のバトンタッチ型の機能別組織から個々の創薬チームが自律的に革新的医薬品創出に取り組むアジャイル型の研究組織体制に変更します。現在の研究本部 (Drug Discovery Research: DDR) は発展的に解消され、機能および従業員は新しい部門に再配置されます。これに伴い、研究本部長の職務も廃止されます。

1. バイオベンチャーモデルを進化させ、生産性と敏捷性をさらに高めます。

■ 創薬アクセレーター部門 (Discovery Accelerator) を新設

機敏かつ柔軟なベンチャーユニットモデルを活用して革新的な候補製品を産み出し、次の Primary Focus につながるアセットを研究ポートフォリオに加えていきます。

■ 研究機能の一部を CScO 直下に配置

現在、DDR 内にある研究機能が CScO 直属部門となり、より自律的で機動性の高い創薬エンジンとして活動します。

2. 製薬企業としての高いコア・ケイパビリティをさらに強化および進化させます。

■ 開発研究部門 (Applied Research & Operations) を新設

研究組織全体に高いファーマ・コア・ケイパビリティと適切な品質標準、および最先端

の研究プラットフォームを提供することを通じて、製品候補の治験許可申請までのスピードと品質を高め、継続的に製品を提供できるようにします。

■研究パートナーリング部門(Early-Stage Partnering)を新設

アステラス製薬の研究パイプライン全体を充実させるため、幅広い初期研究段階の提携および投資の機会を開拓します。

3. 生産性を最大化し、グローバル視点で最適な組織体制およびモデルを構築します。

■ストラテジー&オペレーションズ(Strategy & Operations)を新設

CScO および研究リーダーシップチームをサポートし、各研究エンジンの強みの相乗効果を最大化することで、研究リソースの効率的な使用を促進します。

■アフィリエイトエンゲージメント(Affiliate Engagement)を新設

アステラス製薬に最近加わった、または将来加わる研究系子会社に必要な支援を提供し、適切に導きながら、アステラスグループ内での価値を最大化できるよう支援します。

アステラス製薬は、新たな研究組織体制により、革新的で信頼性の高い医薬品の提供を通じて世界中の人々の健康に引き続き貢献してまいります。

以上

### アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ／テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

### 注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

### お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社  
コーポレート・アドボカシー&リレーション部  
TEL: 03-3244-3201